

天草家保通信平成23年5月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス <http://www.pref.kumamoto.jp/site/amakusa-1219>
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



韓国、ワクチン接種済の養豚農場で口蹄疫発生!!

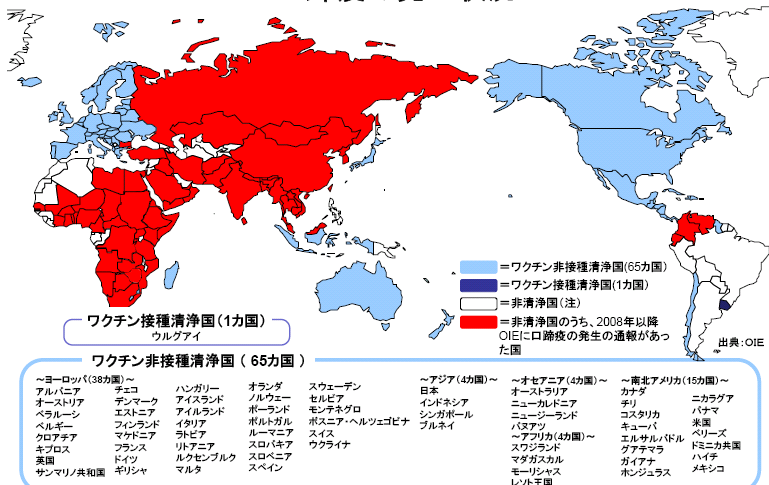
韓国においては、2010年11月末から口蹄疫が発生し、全土におけるワクチンの接種および6千を超える農場の殺処分が実施されました。4月3日に一連の発生が終息し、全ての移動制限が解除されたところでしたが、4月17日、ワクチン接種済の養豚農場で新たに口蹄疫の感染が確認され、4月22日までに3例(全て豚飼養農場)の発生が報告されています。

韓国では、ワクチン接種清浄国のステータス取得を目指し、定期的にワクチン接種を実施することが決められていますが、韓国政府の見解では、ワクチン接種農家においても口蹄疫が発生する可能性があり、今後もこれまでの発生地域を中心に、間欠的に発生する可能性があるとしてされています。

引き続き日本への侵入防止・発生予防に警戒が必要ですので、韓国の畜産農家への訪問の自粛、飼養衛生管理基準の遵守など、再度防疫対策の徹底をお願いします。

口蹄疫の発生状況

2011年5月13日現在



口蹄疫発生状況

(2011.5.13現在)

- ・水色がワクチン非接種清浄国
- ・赤が非清浄国のうち、2008年以降OIEに口蹄疫発生の通報があった国

農林水産省ホームページより

※ 出典: OIE(清浄国はOIE公式認定)
 注 非清浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種清浄地域/ワクチン接種清浄地域を含んでいる国を含む。

台湾でも口蹄疫が発生中

台湾でも2009年以降、口蹄疫の発生が相次いでおり、今年に入っても3月に豚で2件（いずれもO型）の発生が確認されています。さらに5月に入って1件の発生が報告されましたので、概要をお知らせします。

【発生日】 2011年5月6日（5月17日にOIEへ報告）

【概要】 サーベイランスで行っている血清学調査において、台湾北部（新竹縣）の養豚場で抗体陽性を確認。ウイルス分離は陰性。血清型O型。

【対応】 周辺農場3km以内の調査、国内での移動制限、同居豚へのワクチン接種、消毒、淘汰は実施していない。

めん羊でスクレイピーが発生

平成23年4月14日、福岡県福岡市で飼育されていためん羊(サフォーク種)1頭で、伝達性海綿状脳症(スクレイピー)の発生が確認されました。疫学調査により、北海道で16頭の疑似患畜が確認されていましたが、検査の結果すべて陰性と確認されました。

スクレイピーとは??

めん羊と山羊で発生する病気で、プリオンによって伝達する家畜伝染病。激しい搔痒とそれに伴う無気力化、運動失調、発育不良などを特徴とします。人には感染しません。また、牛の伝達性海綿状脳症（BSE）とは異なる病気です。



高病原性鳥インフルエンザ情報

高病原性鳥インフルエンザに関しては、4月15日に千葉県での発生に係る移動制限の解除をもって、全ての移動制限が解除されました。

4月21日に開催された第39回家さん疾病小委員会では、「既に渡り鳥が北方へ移動し始めていることから、**本病の発生リスクは減りつつある**と考えられるが、**まだ野外にはウイルスを保持している野鳥及び野生動物がいる可能性がある**ので、引き続き監視体制を維持し、本病ウイルスの侵入防止及びまん延防止に努める必要がある。また、10月以降の渡り鳥の飛来シーズンに備え農家段階でのバイオセキュリティの強化等に今後も努めること」とされました。

気を緩めることなく、防疫対策の徹底をお願いします。

口蹄疫に関する全国一斉防疫実態調査結果について

平成23年2～3月に、口蹄疫の発生に備えた全国一斉点検を実施しました。全国の調査結果の概要と併せて、天草家保管内の調査結果をご紹介します。ご協力いただきありがとうございました。

調査は全国42都道府県の約61,400戸で以下の点の聞き取りを行いました。

- ①口蹄疫の症状について(5点満点)
- ②異常時の通報先について(2点満点)
- ③農場での防疫対策について(8点満点)



熊本県の平均は、全国平均を若干下回っています。一方天草管内の平均は、全国平均を上回りました。しかし、問3 農場の防疫対策については、満点にはまだまだ届かず、改善の余地があると思われました(右表)。

	問1	問2	問3	合計
全国平均	4.6	1.9	4.8	11.4
熊本平均	4.4	1.9	4.2	10.5
天草平均	4.8	2.0	4.9	11.7

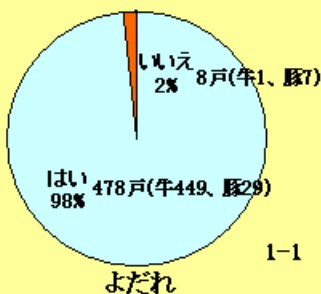
調査期間 平成23年2月～3月

調査戸数 486戸(牛450戸 豚36戸)

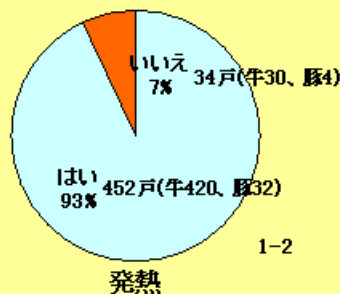
1 口蹄疫の症状について

口蹄疫に感染すると次のような症状があることを知っていますか？

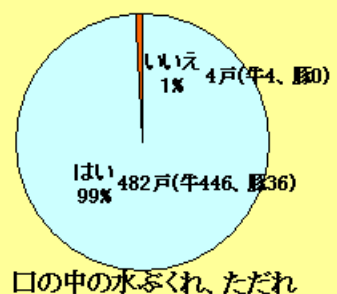
1-3



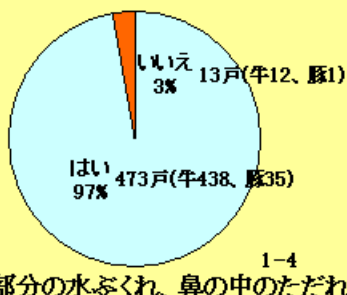
1-1



1-2

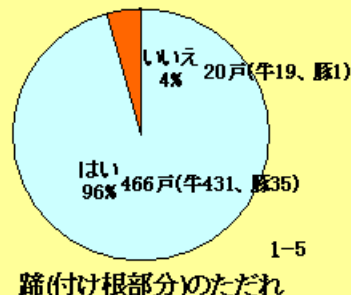


口の中の水ぶくれ、ただれ



1-4

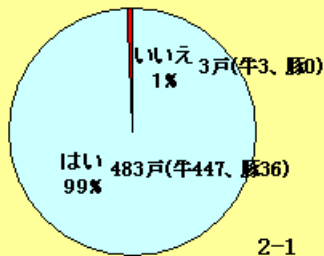
鼻の部分の水ぶくれ、鼻の中のただれ



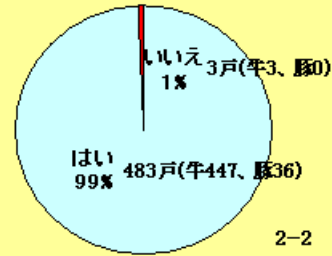
1-5

蹄(付け根部分)のただれ

2 異常時の通報先について



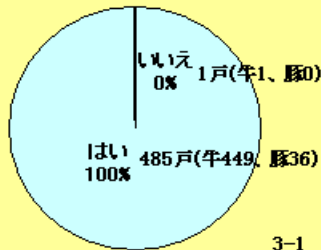
口蹄疫を疑った時、
連絡する先を決めていますか



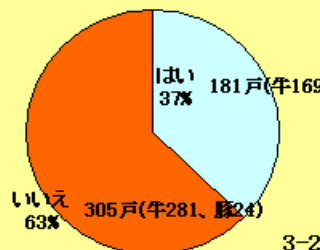
連絡先の電話番号や窓口の
場所を知っていますか

3 農場での防疫対策について

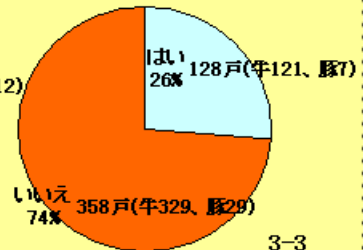
調査戸数 486戸(牛450戸 豚36戸)



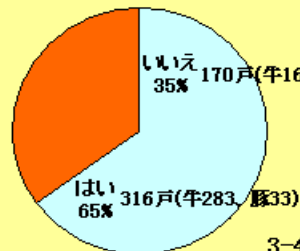
毎日、飼っている全ての家畜
の健康観察をしていますか



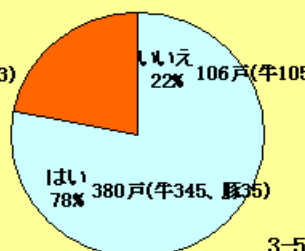
農場に出入りする車両の
消毒をしていますか



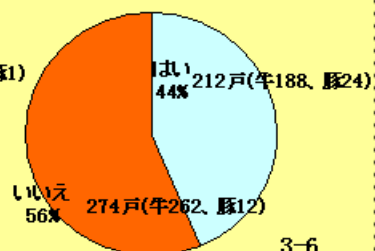
農場に出入りする車両や
人を記録していますか



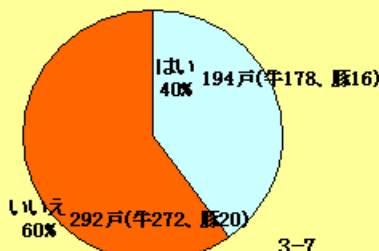
畜舎に出入りする時に消毒
を実施していますか



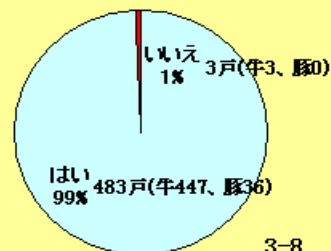
飼養管理する人以外が畜
舎に立ち入らないように
していますか



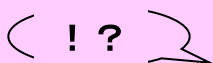
農場内に野生動物が
入らないようにしていますか



農場外から導入した家畜は
隔離して飼養していますか



韓国などの口蹄疫発生国
への旅行を控えていますか



家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668